

病態制御医学講座 循環器内科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	夢田 浩	平成24年8月1日～
准教授	宇隨 弘泰	平成24年10月1日～ (平成26年6月1日～現職)
特命講師	宮崎 晋介	平成29年10月1日～ (平成30年4月～現職)
講師	石田 健太郎	平成24年10月1日～ (平成30年4月1日～現職)
特命助教	池田 裕之	平成24年10月1日～ (平成27年4月1日～現職)
特命助教	玉 直人	平成26年8月1日～ (平成28年4月1日～現職)
助教	長谷川 奏恵	平成27年4月1日～ (平成30年4月1日～現職)
医員	江口 智也	令和2年4月1日～
特命助教	汐見 雄一郎	平成26年4月1日～ (平成28年8月1日～現職)
助教	野寺 穰	平成31年4月1日～ (令和元年10月1日～現職)
特命助教	山口 順也	平成30年8月1日～
特命助教	青山 大雪	平成30年4月1日～
特命助教	関原 孝之	令和2年4月1日～
特命助教	向井 萌	平成30年7月1日～ (平成31年4月1日～現職)
特命助教	相木 孝允	令和2年4月1日～
特命助教	掛橋 昇太	令和2年4月1日～
医員	長尾 萌子	令和2年4月1日～
医員	荒賀 彬	令和2年4月1日～
医員	堀山 知己	令和2年4月1日～
医員	堀口 慈希	令和2年4月1日～

2. 研究概要

研究概要

【虚血】

・研究グループのテーマ

2020年度も虚血性心疾患、心不全、閉塞性動脈硬化症における病態の解明とその治療への応用を基本理念として以下の研究を計画および継続していく。

・研究概要

1) 虚血性心疾患の危険因子である、耐糖能障害、脂質異常に焦点を置いた検討として、患者血清検体や臨床データを用いての検討。

① 虚血性心疾患患者における冠動脈危険因子に加え冠血流予備能や内皮血管再生因子と予後予測とに関連があるか検討を行っている。

② 冠動脈形成術後のステント内被膜の観察を冠動脈内視鏡で観察し、新しい動脈硬化病変の不安定化と関連の高いMT1-MMPの流血中単核球表面における発現とともに検討を行っている。

③ 安定狭心症における脂質強化療法の有効性を血管内超音波とバイオマーカーとの関連を検討を開始した。

④ 胸痛救急来院患者における急性冠症候群患者の急性期診断に、心筋構成蛋白トロポニンI, およびTの高感度キット使用におけるカットオフ値設定の検討を、救命救急診療を行っている多施設と行っている。

⑤ 冠動脈病変における心筋虚血の新しい指標であるFFRとイメージングデバイスを用いた冠動脈形成術における有用性の検討を行っている。

2) 閉塞性動脈硬化疾患に対する積極的脂質への介入の有用性や、下肢における酸素代謝の評価を用いた病態の評価を行っている。

① 下肢虚血疾患においては、内皮機能の改善と、血管予後の関連を見るため、血管内皮前駆細胞モニタリングの有用性を検討している。

3) 心不全患者における臨床データと患者血清から得られるサラゲートマーカーとの関連を検討。

① 超高齢者心不全への予後改善に有用な利尿剤治療を当院のデータベースから評価。

② 心不全患者におけるカケキシア、サルコペニア、フレイルの観点から予後予測の有用性を検討。さらに新しい抗心不全薬の作用メカニズムや多面的作用の検討を開始した。

4) 基礎検討では、ヒト培養心筋線維芽細胞を用いて糖尿病患者に見られる、糖尿病性心筋症の発症進展メカニズム解明のため1. 高血糖存在下における心不全の誘因となるリモデリング促進因子発現の評価、2. sodium glucose cotransporter (SGLT) 受容体への修飾薬剤を用いた心筋リモデリング因子への影響を検討している。臨床検体からの末梢血単核球表面へのリモデリングマーカーによる抗体標識を行い、血管動脈硬化疾患患者における発現と病態の関連を評価している。

【不整脈】

・研究グループのテーマ

令和2年度も不整脈、心不全における病態の解明とその治療への応用を基本理念として以下の研究を計画および継続していく。

・研究概要

発作性/持続性心房細動・多発性心室期外収縮/非持続性心室頻拍・致死性心室性不整脈・左脚ブロックを伴う重症心不全などをテーマに“臨床における病態の解析、問題点の解明ならびに予後改善のための治療介入”を目的として研究を行っている。

① Xa阻害薬によるアブレーション術後の抗炎症作用の検討：心房細動施行前から術後1年までの経過で再発率、炎症マーカー、凝固マーカー、心外膜脂肪などの比較検討

② 心外膜脂肪と心房細動の関係、心外膜脂肪と心房細動アブレーション後の再発率の関係、心外膜脂肪と左房低電位領域の関係、心外膜脂肪と血液マーカーの関係の検討

③ クライオバルーンアブレーションの安全性の検討：多施設研究によるデータ解析

キーワード

【虚血】 冠動脈硬化、冠動脈危険因子、心不全、慢性閉塞性動脈硬化症

【不整脈】 不整脈、カテーテルアブレーション、心臓再同期療法、ペーシング

業績年の進捗状況

【虚血】1) 虚血性心疾患：①急性冠症候群におけるDPP4阻害薬を用いた介入では冠血流予備能や内皮血管再生因子への悪化を抑えることが見出し報告した (Intern Med, 2019;58:2773-2781)。②冠動脈形成術後のステント内被膜形成が冠動脈内視鏡により色調による分類が可能となり、その動脈硬化病変の不安定化とMT1-MMP流布中核球表面における発現に強い相関があることを見出し報告した (RESOLUTE ONLY CASE REPORT, 2019)。③急性冠症候群患者への超急性期にPCSK9阻害薬による脂質低下療法により急性期における心機能マーカーの改善がみられること報告した (AHA2019, Philadelphia: USA)。④急性冠症候群患者早期診断における心筋逸脱酵素トロポニンIおよびTの有用性の評価の方法論を報告した (BMJ Open, 2019年9月)。⑤冠動脈病変におけるFFRとイメージングデバイスを用いた冠動脈形成術における有用性を報告した (第67回日本心臓病学会学術集会)。

3) 心不全関連：① 超高齢者心不全当院のデータベースを用い、経口利尿薬の有用性安全性を報告した (J Cardiovasc Pharmacol Ther, 2020;25:47-56)。

② 心不全患者におけるカケキシア、サルコペニア、フレイル評価が予後予測に有用であることを報告した (Eur J Clin Invest, 2021 Apr;51(4):e13426)。

4) 重症下肢虚血 (CLL) へのPCSK9阻害薬による積極的脂質介入により血管内皮前駆細胞への影響、酸素代謝、救急への有用性を報告した (日本動脈硬化学会誌J【不整脈】1) 心房細動を合併した不整脈誘発性心筋症を術前にTroponin-Tを用いて予測することが可能であることを見出しJournal of American Heart Association誌に掲載された。

2) 肺静脈隔離後の左房線状焼灼において、高周波アブレーションよりクライオアブレーションの方が医原性心房頻拍を起こしにくいこと、クライオ線状焼灼の成功率を報告し、Journal of Cardiovascular Electrophysiology誌に掲載された。

3) カテーテルアブレーション後の鼠径部合併症を単施設後向き解析を行い骨盤造影CTの有用性、合併症のリスク因子を解明し、Journal of Cardiovascular Electrophysiology誌に掲載された。

4) QT延長症候群患者と健康人でのQT延長に関与する共通因子としてゲノムワイド関連解析により3つの一塩基多型を同定し、遺伝子型陰性のQT延長症候群患者に対して多遺伝子リスクスコアリングの重要性を示し、Circulation誌に掲載された。

5) クライオアブレーション時にクライオバルーンをシースに挿入する際に水槽を使用すると空気塞栓が減少できることを証明し、JACC Clin Electrophysiology誌に掲載された。

6) 右室流出路起源を唆する心室期外収縮のアブレーションで、右室流出路の焼灼に加えてその対側の左室流出路からのアブレーションが必要になることがあることを示し、Journal of Cardiovascular Electrophysiology誌に掲載された。

7) 心房細動患者でPentaRay®/CARTO®3とOrion™/Rhythmia™システムでの左房の低電位領域のマッピングには不一致があることを報告し、Heart and Vessels誌に掲載された。

8) 心房頻拍のメカニズムを同定するために超高分解能マッピングシステムを用いることで、複雑な頻拍回路を同定し、適切なアブレーションの治療戦略が立てられることを証明し、Heart Rhythm誌に掲載された。

9) 通常型心房粗動の有無での右房後壁の興奮伝播の違いを超高分解能マッピングシステムを用いて明らかにし、Journal of Cardiovascular Electrophysiology誌に掲載された。

10) 第4世代クライオアブレーションでの肺静脈隔離は、第2世代に比較して冷却中の肺静脈電位の確認はしやすいが、隔離成功率は第2世代のほうが良かったことを示し、Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology誌に掲載された。

11) 前立腺癌に対するホルモン療法によりQT延長を来すこと、一部の症例で致死的不整脈に至ることがあることがあり治療中のQT時間のモニタリングの重要性を示し、Journal of American Heart Association誌に掲載された。

特色等

【虚血】当講座内にて行われている研究は、臨床における疑問を基礎、臨床を問わずメカニズムからその制御までを基本的な考え方としている。特に動脈硬化を端とする冠動脈疾患に関する研究は、他の施設と比較を行っても独創性があり、科学研究費助成事業から多年度にわたり科研費の助成を受けている。またこれらによる研究の結果、業績より新しい薬剤や機材における有用性をメカニズムから評価することができ、ガイドライン治療の有用性を評価ができ、この年度は、薬剤や機器の申請に係る医師主導型治験 (フェーズ2から3) の参加も多くなっている。特に下肢閉塞性動脈硬化症における新しい治療法におけるロータブレード機器の保険適応に向けた高難度治療法への参加も、当施設の業績を踏まえて依頼されているものである。限られた研究資金、補助金ではあるが、日常診療による症例数が多いこともあり、独創的な研究を各スタッフが考案していること、他施設との共同研究を働きかけることにより、資金に関する難点をカバーしており、効率的には優れていると考えられる。

【不整脈】当講座内にて行われている研究は、近年著しく進歩した不整脈に対する非薬物療法に関し、その有効性の評価、予後の予測、新しい治療法の開発を目指す研究が中心となっています。カテーテルアブレーションにおいては日本に導入された最新のマッピングシステムを用いながらその有用性を評価・発表してきました。とりわけ心房細動の機序解明や心房頻拍・心房粗動の機序解明のための解析を積極的に行い、同時に抗凝固治療に関する血液マーカーを用いた研究も行っています。また積極的に様々な多施設共同研究も行っています。不整脈のメカニズム解明についても様々なマッピングツールを使用することで独創的な発表を行っており、これらの成果から科学研究費助成事業から科研費の助成を受けています。デバイス治療においても認可された新しいリードレスペースメーカー、ヒス束ペーシング、完全皮下型除細動器などをいち早く取り入れ研究を行っています。カテーテルアブレーション症例数は北陸随一の件数となっており、限られた研究資金の中で、効率的に独創的な臨床研究を行っていると考えます。

本学の理念との関係

【虚血】福井大学の目指す教育・研究・医療及びこれらを通じた社会貢献とされており、特に、独創性でかつ地域の特色に鑑みた科学研究・先端研究を世界レベルでとなっております。当科における研究は臨床の疑問からの研究を発端としており、基礎メカニズムを基にした臨床治療への考え方を一貫しております。特に、最新の疾患の発症メカニズムの解明は独創的であり、新しい機器や薬剤の創造へつながる多くの研究を行い、日本国内に限らず、世界の場での発表や国際誌への掲載を行っております。さらには当施設が研究アイデアを立て、福井県内外の施設とも共同研究をおこなっており、本大学の長期目標のひとつにも掲げられている「教員一人ひとりの創造的な研究を尊重するとともに、本学の地域性等に立脚した研究拠点を育成し、特色ある研究で世界的に優れた成果を発信します。」にも合致した方向性が示されていると考えられます。

【不整脈】福井大学の理念は教育・研究・医療及びこれらを通じた社会貢献とされています。当循環器内科学教室は患者様に最先端の医療を安全に提供すべく診療を行っており、常に最先端の情報を国内外から得ながら、日本トップレベルの医療を患者様に提供しています。その中から社会貢献につながるような独創的な研究を、臨床・基礎のレベルで行っており、国内のみならず国際学会、海外英文誌に広く報告しています。同時に若手医師、研修医、学生の教育を豊富な症例の中で行い、働く人々が誇りと希望を持って積極的に活動するために必要な組織・体制を構築しながら、21世紀のグローバル社会において、高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育てよう力を入れています。このように優れた教育、研究、医療を通して地域発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献できるよう努力しています。

3. 研究実績

区分		総数		インパクトファクター (うち原著のみ)	
		2014～2019年分	2020年分	2014～2019年分	2020年分
和文原著論文		15	4		
	ファーストオーサー	62	17	213.138(213.138)	55.226(55.226)
英文論文	コレスポンディングオーサー	68	18	223.517(223.517)	59.874(59.874)
	その他	33	4	112.284(112.284)	26.513(26.513)
	合計	104	24	347.777(342.546)	89.816(89.816)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

2089349

Tada H: Sex differences in idiopathic ventricular arrhythmias: Edited by Marek Malik Sex and Cardiac Electrophysiology, Elsevier, 645-650, 202007

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

2089350

Hasegawa K, Ito H, Kaseno K, Miyazaki S, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Ishida K, Uzui H, Ohno S, Horie M, Yokoyama O, Tada H: Impact of medical castration on malignant arrhythmias in patients with prostate cancer, J Am Heart Assoc, 10(5), e017267-e017267, 202102, DOI: 10.1161/JAHA.120.017267, #4, 605

2089351

Sekihara T, Miyazaki S, Nagao M, Kakehashi S, Mukai M, Aoyama D, Nodera M, Eguchi T, Hasegawa K, Uzui H, Tada H: Ultrahigh resolution electroanatomical mapping of the transverse conduction of the right atrial posterior wall in cases with and without typical atrial flutter, J Cardiovasc Electrophysiol, 32(2), 297-304, 202102, DOI: 10.1111/jce.14850, #2, 424

2089352

Miyazaki S, Hasegawa K, Yamao K, Ishikawa E, Mukai M, Aoyama D, Nodera M, Yamaguchi J, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Fukuoka Y, Ishida K, Uzui H, Iesaka Y, Tada H: Mapping and ablation of clinical spontaneous perimitral atrial tachycardias using an ultra-high-resolution mapping system, Heart Rhythm, 18(2), 189-198, 202102, DOI: 10.1016/j.hrthm.2020.09.016, #5, 731

- 2089353** Nagashima K, Kaneko Y, Maruyama M, Nogami A, Kowase S, Mori H, Sumitomo N, Fukamizu S, Hojo R, Kitamura T, Soejima K, Ueda A, Otsuka T, Takami M, Tanimoto K, Asakawa T, Kumagai K, Tamura S, Hasegawa H, Ogura K, Kawamura M, Munetsugu Y, Shoda M, Higuchi S, Kanazawa H, Kusa S, Mizukami A, Miyazaki S, Wakamatsu Y, Okumura Y: Novel diagnostic observations of nodoventricular/nodofascicular pathway-related orthodromic reciprocating tachycardia differentiating from atrioventricular nodal re-entrant tachycardia, *JACC Clin Electrophysiol*, 6(14), 1797-1807, 202012, DOI: 10.1016/j.jacep.2020.07.007
- 2089354** Sekihara T, Miyazaki S, Ishida K, Nagao M, Kakehashi S, Mukai M, Aoyama D, Nodera M, Eguchi T, Hasegawa K, Uzui H, Tada H: Phrenic nerve stimulation during right ventricular outflow tract pacing: A rare but possible complication, *J Cardiovasc Electrophysiol*, 31(12), 3330-3333, 202012, DOI: 10.1111/jce.14760 (症例報告), #2.424
- 2089355** Sekihara T, Sonoura T, Nakamura Y, Sunayama I, Morishita Y, Ishimi M, Yamato M, Yoshimura T, Yasuoka Y: A cavotricuspid isthmus pouch revealed to be a breakout site for gap conduction of recurrent common atrial flutter, *Clin Case Rep*, 8(11), 2223-2226, 202011, DOI: 10.1002/ccr3.3126 (症例報告), #0.18
- 2089356** Shiomi Y, Yokokawa M, Uzui H, Hisazaki K, Morishita T, Ishida K, Fukuoka Y, Hasegawa K, Ikeda H, Tama N, Kaseno K, Miyazaki S, Amaya N, Tada H: Serum tenascin-C levels in atrium predict atrial structural remodeling processes in patients with atrial fibrillation, *J Interv Card Electrophysiol*, 59(2), 401-406, 202011, DOI: 10.1007/s10840-019-00670-4, #1.277
- 2089357** Sekihara T, Miyazaki S, Nagao M, Kakehashi S, Mukai M, Aoyama D, Nodera M, Eguchi T, Hasegawa K, Tada H: A case of outflow tract premature ventricular contractions with very distant exit sites suspected to have a single origin, *J Electrocardiol*, 63, 41-45, 202011, DOI: 10.1016/j.jelectrocard.2020.09.015 (症例報告), #0.944
- 2089358** Hisazaki K, Hasegawa K, Kaseno K, Miyazaki S, Aoyama D, Mukai M, Nodera M, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Ishida K, Uzui H, Tada H: Idiopathic right ventricular arrhythmias requiring additional ablation from the left-sided outflow tract: ECG characteristics and efficacy of an anatomical approach, *J Cardiovasc Electrophysiol*, 31(10), 2653-2664, 202010, DOI: 10.1111/jce.14658, #2.424
- 2089359** Miyazaki S, Hasegawa K, Mukai M, Ishikawa E, Aoyama D, Nodera M, Kaseno K, Ishida K, Uzui H, Tada H: Clinically manifesting air embolisms in cryoballoon ablation: can novel water buckets reduce the risk?, *JACC Clin Electrophysiol*, 6(9), 1067-1072, 202009, DOI: 10.1016/j.jacep.2020.07.012
- 2089360** Najim Lahrouchi, Rafik Tados, Lia Crotti, Yuka Mizusawa, Pieter G Postema, Leander Beekman, Roddy Walsh, Kanae Hasegawa, Julien Barc, Marko Ernsting, Kari L Turkowski, Andrea Mazzanti, Britt M Beckmann, Keiko Shimamoto, Ulla-Britt Diamant, Yanushi D Wijeyeratne, Yu Kucho, Tomas Robyns, Taisuke Ishikawa, Elena Arbelo, Michael Christiansen, Annika Winbo, Reza Jabbari, Steven A Lubitz, Johannes Steinfurt, Boris Rudic, Bart Loey, M Ben Shoemaker, Peter E Weeke, Ryan Pfeiffer, Brianna Davies, Antoine Andorin, Nynke Hofman, Federica Dagradi, Matteo Pedrazzini, David J Tester, J Martijn Bos, Georgia Sarquella-Brugada, Oscar Campuzano, Pyotr G Platonov, Birgit Stallmeyer, Sven Zumhagen, Eline A Nannenber, Jan H Veldink, Leonard H van den Berg, Ammar Al-Chalabi, Christopher E Shaw, Pamela J Shaw, Karen E Morrison, Peter M Andersen, Martina Müller-Nurasyid, Daniele Cusi, Cristina Barlassina, Pilar Galan, Mark Lathrop, Markus Munter, Thomas Werge, Marta Ribasés, Tin Aung, Chiea C Khor, Mineo Ozaki, Peter Lichtner, Thomas Meitinger, J Peter van Tintelen, Yvonne Hoedemaekers, Isabelle Denjoy, Antoine Leenhardt, Carlo Napolitano, Wataru Shimizu, Jean-Jacques Schott, Jean-Baptiste Gourraud, Takeru Makiyama, Seiko Ohno, Hideki Itoh, Andrew D Krahn, Charles Antzelevitch, Dan M Roden, Johan Saenen, Martin Borggreffe, Katja E Odening, Patrick T Ellinor, Jacob Tfelt-Hansen, Jonathan R Skinner, Maarten P van den Berg, Morten Salling Olesen, Josep Brugada, Ramon Brugada, Naomasa Makita, Jeroen Breckpot, Masao Yoshinaga, Elijah R Behr, Annika Rydberg, Takeshi Aiba, Stefan Kaab, Silvia G Priori, Pascale Guicheney, Hanno L Tan, Christopher Newton-Cheh, Michael J Ackerman, Peter J Schwartz, Eric Schulze-Bahr, Vincent Probst, Minoru Horie, Arthur A Wilde, Michael W T Tanck, Connie R Bezzina: Transethnic genome-wide association study provides insights in the genetic architecture and heritability of long qt syndrome, *Circulation*, 142(4), 324-338, 20200728, DOI: 10.1161/CIRCULATION.120.045956, #23.603
- 2089361** Ishikawa E, Miyazaki S, Mukai M, Aoyama D, Nodera M, Hasegawa K, Kaseno K, Miyahara K, Matsui A, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Fukuoka Y, Ishida K, Uzui H, Tada H: Femoral vascular complications after catheter ablation in the current era: The utility of computed tomography imaging, *J Cardiovasc Electrophysiol*, 31(6), 1385-1393, 202006, DOI: 10.1111/jce.14468, #2.424
- 2089362** Miyazaki S, Ishikawa E, Hasegawa K, Mukai M, Aoyama D, Nodera M, Tada H: Narrow QRS complex tachycardia with fluctuation in the morphology, *J Cardiovasc Electrophysiol*, 31(6), 1547-1549, 202006, DOI: 10.1111/jce.14472 (症例報告), #2.424
- 2089363** Hasegawa K, Ikeda H, Ishida T, Tada H: A long thin stalk of a dancing thrombus might prevent a potential stroke: a thrombus mimicking a myxoma, *Eur Heart J*, 41(24), 2336, 202006, DOI: 10.1093/eurheartj/ehz359, #22.673
- 2089364** Miyamoto K, Hasegawa K, Takahashi H, Masue Y, Kataoka N, Fukuzawa K, Ashikaga K, Noda T, Satomi K, Tada H, Takagi M, Yasuda S, Kusano K: A multicenter study comparing the outcome of catheter ablation of atrial fibrillation between cryoballoon and radiofrequency ablation in patients with heart failure (CRABL-HF): Study design, *J Arrhythm*, 36(3), 449-455, 202006, DOI: 10.1002/joa3.12322, #0.37
- 2089365** Okumura K, Sasaki S, Kusano K, Mine T, Fujii K, Iwasa A, Sunagawa O, Yamabe H, Takahashi N, Ishii S, Takeishi Y, Tsuboi N, Shizuta S, Aonuma K, Shimane A, Tada H, Ishikawa T, Tsunoda R, Numata R, Mukai Y, Kihara Y, Hidaka K, Vinod Sharma: Evaluation of an integrated device diagnostics algorithm to risk stratify heart failure patients - results from the scan-hf study, *Circ J*, 84(7), 1118-1123, 20200625, DOI: 10.1253/circj.CJ-19-1143, #2.54
- 2089366** Sekihara T, Nakano T, Yasuoka Y, Minamiguchi H: A case of typical and atypical atrioventricular nodal reentrant tachycardia with a bystander nodoventricular pathway diagnosed based on the findings during early ventricular premature contractions, *HeartRhythm Case Rep*, 6(10), 680-684, 20200624, DOI: 10.1016/j.hrcr.2020.06.016 (症例報告)
- 2089367** Mukai M, Miyazaki S, Hasegawa K, Ishikawa E, Aoyama D, Nodera M, Kaseno K, Miyahara K, Matsui A, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Fukuoka Y, Ishida K, Uzui H, Tada H: Cryothermal atrial linear ablation in patients with atrial fibrillation: An insight from the comparison with radiofrequency atrial linear ablation, *J Cardiovasc Electrophysiol*, 31(5), 1075-1082, 202005, DOI: 10.1111/jce.14420, #2.424
- 2089368** Sekihara T, Sonoura T, Nakamura Y, Sunayama I, Morishita Y, Ishimi M, Yamato M, Yoshimura T, Yasuoka Y: Pseudoblock of cavotricuspid isthmus via detouring gap conduction, *Clin Case Rep*, 8(5), 852-854, 202005, DOI: 10.1002/ccr3.2752 (症例報告), #0.18
- 2089369** Miyazaki S, Iesaka Y: Extent of Atrial Deformation in Catheter Ablation of Atrial Fibrillation, *Int Heart J*, 61(3), 486-491, 20200530, DOI: 10.1536/ihj.19-531, #1.906
- 2089370** Kakehashi S, Kamakura T, Aiba T, Kusano K: Two forms of monomorphic ventricular tachycardia in a patient with brugada syndrome, *Intern Med*, 59(10), 1287-1290, 20200515, DOI: 10.2169/internalmedicine.4299-19 (症例報告), #1.005
- 2089371** Hara S, Miyazaki S, Hachiya H, Kajiyama T, Watanabe T, Nakamura H, Tada H, Iesaka Y: Long-term outcomes after second-generation cryoballoon ablation of paroxysmal atrial fibrillation - Feasibility of a single short freeze strategy without bonus applications, *Int J Cardiol*, 306, 90-94, 20200501, DOI: 10.1016/j.ijcard.2020.02.032, #3.229
- 2089372** Miyazaki S, Nodera M, Hasegawa K, Ishikawa E, Mukai M, Aoyama D, Tada H: Spontaneous narrow QRS complex tachycardia with ventriculoatrial dissociation, *J Cardiovasc Electrophysiol*, 31(4), 988-990, 202004, DOI: 10.1111/jce.14442 (症例報告), #2.424
- 2089373** Aoyama D, Miyazaki S, Hasegawa K, Kaseno K, Ishikawa E, Mukai M, Nodera M, Miyahara K, Matsui A, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Fukuoka Y, Morishita T, Ishida K, Uzui H, Tada H: Preprocedural Troponin T Levels Predict the Improvement in the Left Ventricular Ejection Fraction After Catheter Ablation of Atrial Fibrillation/Flutter, *J Am Heart Assoc*, 9(7), e015126-e015126, 20200407, DOI: 10.1161/JAHA.119.015126, #4.605

b. 原著論文 (審査無)

c. 原著論文 (総説)

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2089374

Yamagishi M, Tamaki N, Akasaka T, Ikeda T, Ueshima K, Uemura S, Otsuji Y, Kihara Y, Kimura K, Kimura T, Kusama Y, Kumita S, Sakuma H, Jinzaki M, Daida H, Takeishi Y, Tada H, Chikamori T, Tsujita K, Teraoka K, Nakajima K, Nakata T, Nakatani S, Nogami A, Node K, Nohara A, Hirayama A, Funabashi N, Miura M, Mochizuki T, Yokoi H, Yoshioka K, Watanabe M, Asanuma T, Ishikawa Y, Ohara T, Kaikita K, Kasai T, Kato E, Kamiyama H, Kawashiri M, Kiso K, Kitagawa K, Kido T, Kinoshita T, Kiriya T, Kume T, Kurata A, Kurisu S, Kosuge M, Kodani E, Sato A, Shiono Y, Shiomi H, Taki J, Takeuchi M, Tanaka A, Tanaka N, Tanaka R, Nakahashi T, Nakahara T, Nomura A, Hashimoto A, Hayashi K, Higashi M, Hiro T, Fukamachi D, Matsuo H, Matsumoto N, Miyauchi K, Miyagawa M, Yamada Y, Yoshinaga K, Wada H, Watanabe T, Ozaki Y, Kohsaka S, Shimizu W, Yasuda S, Yoshino H, Japanese Circulation Society Working Group: JCS 2018 guideline on diagnosis of chronic coronary heart diseases, *Circ J*, 85(4), 402-572, 20210325, DOI: 10.1253/circj.CJ-19-1131, #2. 54

2089375

Fujiki S, Iijima K, Okabe M, Niwano S, Tsujita K, Naito S, Ando K, Kusano K, Kato R, Nitta J, Miura T, Mitsuhashi T, Kario K, Kondo Y, Ieda M, Hagiwara N, Murohara T, Takahashi K, Tomita H, Takeishi Y, Anzai T, Shimizu W, Watanabe M, Morino Y, Kato T, Tada H, Nakagawa Y, Yano M, Maemura K, Kimura T, Yoshida H, Ota K, Tanaka T, Kitamura N, Node K, Aizawa Y, Shimizu I, Izumi D, Ozaki K, Minamino T, EMPA-ICD investigators: Placebo-controlled, double-blind study of empagliflozin (EMPA) and implantable cardioverter-defibrillator (EMPA-ICD) in patients with type 2 diabetes (T2DM): Rationale and design, *Diabetes Ther*, 11(11), 2739-2755, 202011, DOI: 10.1007/s13300-020-00924-9, #3. 179

2089376

Miyazaki S, Nodera M, Hasegawa K, Ishikawa E, Mukai M, Aoyama D, Tada H: Author's reply: Spontaneous narrow QRS complex tachycardia with ventriculoatrial dissociation, *J Cardiovasc Electrophysiol*, 31(6), 1565-1565, 202006, DOI: 10.1111/jce.14466, #2. 424

2089377

Miyazaki S, Hasegawa K, Mukai M, Ishikawa E, Aoyama D, Nodera M, Tada H: Long time-to-isolation during fourth-generation cryoballoon ablation of the right superior pulmonary vein. What should we do next?, *Pacing Clin Electrophysiol*, 43(4), 423-426, 202004, DOI: 10.1111/pace.13897, #1. 303

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

2089378

宮崎 晋介: 「持続性(慢性)心房細動の治療戦略 先生の治療方針は」 治す11. 持続性心房細動に対してさまざまなカテーテルアブレーションで治す: 企画・構成／山下武志: 月刊「Heart View」Vol.25, No3, メジカルビュー社, 275-279, 20210215

2089379

茅田 浩: 房室ブロック: 福井次矢, 高木誠, 小室一成: 今日の治療指針, 医学書院, 412-414, 202101, 978-4-260-04282-6

2089380

長谷川 奏恵, 茅田 浩: 心房細動の治療にビルジカインドを使用したところ頻脈が悪化した症例: 企画・構成／佐藤 徹: 月刊「Heart View」Vol.24, No12, メジカルビュー社, 163-166, 202011

2089381

宮崎 晋介: 不整脈領域の進歩: 循環器専門医第29巻, 日本循環器学会専門医誌, 84-86, 202011

2089382

宮崎 晋介: 総論第一章 心臓電気生理額検査の基本 1. EPSに必要な機材とスタッフ 2. 電極カテーテルの挿入・留置法 3. 刺激装置の使い方とプログラム刺激法 4. 心内電位の基本的な読み方 5. エントレインメントペーシング・リセット現象 6. 3Dマッピングシステムの使い方: 不整脈ロジック×プラクティス, 南江堂, 202008, 978-4-524-24894-0

2089383

長谷川 奏恵, 茅田 浩: 高カリウム血症が引き起こす症状・疾患: 致命的な不整脈による突然死: 透析ケア 2020, vol.26 no.6, メディカ出版, 526-527, 202006

2089384

宮崎 晋介: 1000枚見て覚える心電図ギャラリー: このようにして心電図は読む: 1000枚見て覚える心電図ギャラリー: このようにして心電図は読む, 日本医事新報社, 11, 202004

2089385

茅田 浩: 不整脈の起源はどうやって推測するの?: 横井宏佳, 熊谷浩一郎, 原英彦: CATHLAB JIN, メディカルアイ, 68-74, 20200430

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2089386

野寺 穰, 宮崎 晋介, 長谷川 奏恵, 石川 恵理, 向井 萌, 青山 大雪, 粕野 健一, 大竹 美華, 野村 量平, 平野 晃大, 宮原 孝輔, 松井 吟, 汐見 雄一郎, 玉 直人, 池田 裕之, 福岡 良友, 石田 健太郎, 宇随 弘泰, 茅田 浩: 非開心術症例における右心房低位後側壁をisthmusとするリエントリー性心房頻拍に対して、超高密度マッピングシステムを用いて治療に成功した1例, 心臓, 52(Supple. 1), 122-127, 20201230 (症例報告)

2089387

松井 吟, 玉 直人, 福岡 良友, 宇随 弘泰, 茅田 浩: 上腕動脈に留置した冠動脈用ステントの変形進行を体表エコーで観察し得た1例, 超音波医学, 47(Supple), S536-S536, 20201120 (症例報告)

2089388

長谷川 奏恵, 宮崎 晋介, 粕野 健一, 宮原 孝輔, 向井 萌, 石川 恵理, 相木 孝允, 松井 吟, 青山 大雪, 山口 順也, 汐見 雄一郎, 玉 直人, 池田 裕之, 福岡 良友, 石田 健太郎, 宇随 弘泰, 茅田 浩: 心外膜側カテーテルと超高密度マッピングシステムを用いてMarshall束と冠静脈洞が頻拍回路に含むことを証明しえた左房マクロリエントリー性心房頻拍の1例, 臨床心臓電気生理, 43, 159-165, 20200530 (症例報告)

2089389

宮原 孝輔, 汐見 雄一郎, 石川 恵理, 向井 萌, 松井 吟, 相木 孝允, 青山 大雪, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 森下 哲司, 福岡 良友, 粕野 健一, 石田 健太郎, 宮崎 晋介, 宇随 弘泰, 茅田 浩: うつ病に対する電気痙攣療法後に血圧低下および広範なST上昇を認めた1例, 心臓, 52(5), 523-527, 20200515

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2089390

栗田隆志, 野上昭彦, 木村正臣, 草野研吾, 合屋雅彦, 志賀剛, 庄田守男, 副島京子, 茅田浩, 内藤滋人, 野田崇, 山崎浩, 山根禎一, 相沢義房, 大江透, 木村剛, 香坂俊, 三田村秀雄: 2021年JCS/JHRSガイドライン フォーカスアップデート版 不整脈非薬物治療, 日本循環器学会日本不整脈心電学会合同ガイドライン, 1-37, 20210326

2089391

茅田 浩: カテーテルアブレーション関連秋季大会2019を終えて, 心電図, 40(2), 90-92, 20200807, DOI: 10.5105/jse.40.90

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

2089392 Miyazaki S: Efficacy and Safety of Current Cryoballoon Ablation for Atrial Fibrillation KHRS, The 12th Annual Scientific Session of the Korean Heart Rhythm Society, Atrial Fibrillation, 20201120

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

2089393 宮崎 晋介: 「Debate 2 持続性心房細動アブレーションはクライオバルーンファーストか？RFファーストか？」, 日本不整脈心電学会 夏季EP Web講演会, 20200822

2089394 宮崎 晋介: ダビガトランでつなぐ心房細動アブレーション周術期の抗凝固療法, 日本不整脈心電学会 夏季EP Web講演会 スポンサーセミナー, 20200821

2089395 宮崎 晋介: 心房細動アブレーションと合併症, 第13回植込みデバイス関連冬季大会 ランチョンセミナー, 心房細動に対する非薬物療法の進歩, 20210205

2089396 宮崎 晋介: バルーンアブレーションにおける3Dマッピングシステムの併用は妥当か?, 日本不整脈心電学会 夏季EP Web講演会, 20200822

b. シンポジスト・パネリスト等

2089397 宮崎 晋介: エキスパートオピニオン, 第84回日本循環器学会学術集会, 重大合併症はこの時起こる, 20200802

c. 一般講演（口演）

2089398 Aoyama D, Miyazaki S, Hasegawa K, Kaseno K, Ishikawa E, Mukai M, Nodera M, Matsui A, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Fukuoka Y, Ishida K, Uzui H, Tada H: Pre-procedural Troponin-T Levels Predict the Improvement in the Left Ventricular Ejection Fraction after Catheter Ablation of Atrial Fibrillation/Flutter, 第84回日本循環器学会学術集会, AF/Imaging, 20200727

2089399 関原 孝之, 中野 智彰, 南口 仁, 奥山 裕司: Nodofascicular/Nodoventricular (NF/NV) pathwayによる頻拍resetのタイミング・心房シーケンスは頻拍回路に依存することが示された一例, 第50回臨床心臓電気生理解究会, 20201024

2089400 原 聡史, 宮崎 晋介, 蜂谷 仁, 佐藤 慶和, 三輪 尚之, 山尾 一哉, 久佐 茂樹, 家坂 義人: Long-term Outcomes after Second-generation Cryoballoon Ablation for Atrial Fibrillation Using a Single Short Freeze Strategy without Bonus Freezes, 第84回日本循環器学会学術集会, AF Ablation Method/postoperative AT, 20200727

2089401 埴山 知己, 青山 大雪, 宮崎 晋介, 長尾 萌子, 掛橋 昇太, 向井 萌, 関原 孝之, 野寺 稯, 江口 智也, 山口 順也, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇随 弘泰, 茅田 浩: The Additional Impact of Cardiac Rehabilitation after Atrial Fibrillation Ablation in Patients with Left Ventricular Dysfunction, 第85回日本循環器学会学術集会, HF/CM: 心不全 心筋症 移植, 20210327

2089402 Nodera M, Araga A, Kaeriyama T, Nagao M, Kakehashi S, Aiki T, Mukai M, Sekihara T, Aoyama D, Yamaguchi J, Eguchi T, Hasegawa K, Tama H, Ikeda H, Ishida K, Miyazaki S, Uzui H, Tada H: Brain-Derived Neurotrophic Factor is a Novel Sensitive Marker Reflecting Improvement of Inflammation after Atrial Fibrillation Ablation, 第85回日本循環器学会学術集会, Arrhythmia: 不整脈, 20210327

2089403 Nagashima K, Kaneko Y, Nogami A, Kowase S, Kawamura M, Munetsugu Y, Fukamizu S, Hojo R, Kitamura T, Takami M, Asakawa T, Kumagai K, Tamura S, Hasegawa H, Ogura K, Shoda M, Higuchi S, Mizukami A, Miyazaki S, Wakamatsu Y, Okumura Y: Shortcut-Link between the Fast and Slow Pathways: Another Possible Explanation for AVNRT Sustained with Ventriculoatrial Block, 第85回日本循環器学会学術集会, Arrhythmia: 不整脈, 20210327

2089404 Aoyama D, Uzui H, Miyazaki S, Ishida K, Hasegawa K, Tama N, Ikeda H, Eguchi T, Shiomi Y, Nodera M, Yamaguchi J, Sekihara T, Mukai M, Aiki T, Kakehashi S, Nagao M, Tada H: Sequential Organ Failure Assessment Score on Admission Predicts Long-term Mortality in Elderly Acute Heart Failure Patients, 第85回日本循環器学会学術集会, HF/CM: 心不全 心筋症 移植, 20210327

2089405 関原 孝之: 右室流出路ペーシングによる左横隔神経捕捉の機序についての検討, 第13回植込みデバイス関連冬季大会, ペーシング部位と効用, 20210205

2089406 Horiguchi S, Aoyama D, Mukai M, Sekihara T, Yamaguchi J, Nodera M, Shiomi Y, Eguchi T, Hasegawa K, Tama N, Ikeda H, Ishida K, Miyazaki S, Uzui H, Tada H: DDD mode-switching and loss of atrioventricular synchrony evokes heart failure: A rare but possible trigger of pacing-induced cardiomyopathy, 第24回日本心不全学術集会, 心筋症, 20201015

2089407 江口 智也, 宮崎 晋介, 長尾 萌子, 掛橋 昇太, 相木 孝允, 向井 萌, 関原 孝之, 青山 大雪, 山口 順也, 野寺 稯, 汐見 雄一郎, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇随 弘泰, 茅田 浩: Unicentric Earliest Atrial Activation and Plasma BNP Elevation Indicate Sinus Node Dysfunction: A Novel Predictor of Sinus Node Dysfunction, 第85回日本循環器学会学術集会, Arrhythmia: 不整脈, 20210327

2089408 Sekihara T, Miyazaki S, Horiguchi S, Nagao M, Kakehashi S, Aiki T, Mukai M, Aoyama D, Nodera M, Shiomi Y, Eguchi T, Hasegawa K, Tama N, Ikeda H, Ishida K, Uzui H, Tada H: Conduction Barrier in Right Atrial Posterior Wall in Patients with Counter-Clockwise and Clockwise Atrial Flutter Evaluated by Ultra-High Resolution Mapping, 第85回日本循環器学会学術集会, Arrhythmia: 不整脈, 20210327

2089409 長谷川 奏恵, 平野 晃大, 野村 量平, 大竹 美華, 宮原 孝輔, 石川 恵理, 向井 萌, 松井 吟, 青山 大雪, 久寄 香, 山口 順也, 野寺 稯, 汐見 雄一郎, 玉 直人, 池田 裕之, 福岡 良友, 石田 健太郎, 宮崎 晋介, 宇随 弘泰, 伊藤 秀明, 横山 修, 堀江 稔, 茅田 浩: Impact of Ventricular Fibrillation with QT Prolongation on Medical Castration in Patients with Prostate Cancer, 第84回日本循環器学会学術集会, Cardio-Oncology, 20200727

2089410 Fujino S, Mizuno S, Ohsato K, Uzui H, Yoshida H, Masamura K, Satake K, Mitamura Y, Katoh H, Maeno K, Misawa K, Amaya N, Yamamura R, Otowa K: Recent Trends in the Incidence of Acute Myocardial Infarction in Fukui Prefecture, 第84回日本循環器学会学術集会, ACS (Clinica/Diagnosis), 20200727

d. 一般講演（ポスター）

2089411 池田 裕之：原因不明の左室流出路狭窄の診断確定に経食道エコーが有用であった1例，日本心エコー図学会 第31回学術集会，20200814

2089412 安竹 正樹，久保田 雅史，鯉江 祐介，亀井 絵理奈，嶋田 誠一郎，宇随 弘泰，夢田 浩：認知機能が低下した非弁膜症性心房細動を有する慢性心不全患者の臨床的特徴—当院診療録からの後方視的観察研究—，第84回日本循環器学会学術集会，呼吸調節・認知機能，20200727

2089413 掛橋 昇太，野寺 穰，石田 健太郎，荒賀 彬，俣山 知己，堀口 慈希，長尾 萌子，相木 孝允，向井 萌，関原 孝之，青山 大雪，山口 順也，汐見 雄一郎，江口 智也，長谷川 奏恵，玉 直人，池田 裕之，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：るい瘦を伴う高齢患者のCRT-Dジェネレーター交換の際にCRT-Pへダウングレードし，大胸筋下に植込みを施行した1例，第13回植込みデバイス関連冬季大会，複雑手技症例/植込み手技の工夫，20210205，104

2089414 石田 健太郎，宇随 弘泰，福岡 良友，宮崎 晋介，鮎野 健一，池田 裕之，玉 直人，長谷川 奏恵，野寺 穰，汐見 雄一郎，山口 順也，青山 大雪，松井 吟，石川 恵理，向井 萌，宮原 孝輔，大竹 美華，野村 量平，平野 晃大，夢田 浩：Comparisons of Arterial Healing Response Following Implantation of Durable-Polymer or Biodegradable-Polymer Drug-eluting Stent in Patients with Old Myocardial Infarction，第84回日本循環器学会学術集会，Intravascular Imagings，20200727

2089415 Nodera M, Igarashi M, Aoyama D, Hasegawa K, Kaseno K, Miyazaki S, Nogami A, Aonuma K, Ieda M, Tada H: The Amplitude of Negative QRS Deflections in Lead III is a Novel Predictor of Tachyarrhythmias Originating from the Parahisian Region, 第84回日本循環器学会学術集会，Electrocardiogram, 20200727

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

2089416 宮崎 晋介：持続性心房細動のクライオアブレーションの安全使用や有効性，日本循環器学会 第156回東海・第141回北陸合同地方会 ランチョンセミナー，20201031

2089417 宮崎 晋介：心房細動アブレーション治療の進歩と抗凝固療法，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，20210306

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

2089418 堀田 慎吾，夢田 浩，宮崎 晋介，長谷川 奏恵，野寺 穰，関原 孝之，江口 智也，青山 大雪，向井 萌，掛橋 昇太，長尾 萌子，橋脇 和史：ExTRa Mapping の経験，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，20210306，40

2089419 向井 萌，青山 大雪，野寺 穰，長谷川 奏恵，宮崎 晋介，荒賀 彬，俣山 知己，堀口 慈希，掛橋 昇太，長尾 萌子，相木 孝允，関原 孝之，山口 順也，汐見 雄一郎，江口 智也，玉 直人，池田 裕之，石田 健太郎，宇随 弘泰，夢田 浩：心房粗動による房室同期不全により不整脈誘発性心筋症を発症した1例，第140回日本循環器学会北陸地方会，不整脈，20210124

2089420 長谷川 奏恵，宮崎 晋介，長尾 萌子，掛橋 昇太，向井 萌，関原 孝之，青山 大雪，江口 智也，宇随 弘泰，夢田 浩：左室後側壁の心外膜側に不整脈基質を同定し遅延電位の消失により治療し得た心室頻拍の1例，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，VT，20210306，33

2089421 掛橋 昇太，長谷川 奏恵，長尾 萌子，向井 萌，関原 孝之，青山 大雪，江口 智也，野寺 穰，石田 健太郎，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：通電中に心室細動が誘発された右室流出路起源特発性心室期外収縮の1例，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，20210306，60

2089422 関原 孝之，宮崎 晋介，長尾 萌子，掛橋 昇太，向井 萌，青山 大雪，野寺 穰，江口 智也，長谷川 奏恵，宇随 弘泰，夢田 浩：三尖弁輪峡部ブロックラインの IVC 端 gap の伝導パターンについての検討，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，PSVT/AFL，20210306，30

2089423 汐見 雄一郎，石田 健太郎，大嶋 美華，平野 晃大，野村 量平，宮原 孝輔，石川 恵理，松井 吟，向井 萌，青山 大雪，野寺 穰，池田 裕之，玉 直人，福岡 良友，長谷川 奏恵，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：高度石灰化を伴う両総腸骨動脈分岐部病変にゴアバイアバーンVBXを使用した症例，日本心血管インターベンション治療学会第43回東海北陸地方会，EVT，20201009

2089424 鯉江 祐介，野々山 忠芳，安竹 千秋，安竹 正樹，高山 マミ，渡部 雄大，長谷川 大輝，嶋田 誠一郎，坪川 操，高橋 藍，石田 健太郎，長谷川 奏恵，宇随 弘泰，夢田 浩：外来心臓リハビリテーション中の心筋梗塞患者に対して近赤外分光法による下肢筋の血行動態を評価した一例，日本心臓リハビリテーション学会第6回北陸支部地方会，20201024

2089425 野寺 穰，長尾 萌子，掛橋 昇太，向井 萌，青山 大雪，関原 孝之，江口 智也，長谷川 奏恵，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：心房細動のカテーテルアブレーション後における炎症反応の改善を反映する指標としてのBrain-Derived Neurotrophic Factor の有用性，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，20210306，29

2089426 長尾 萌子，関原 孝之，掛橋 昇太，向井 萌，青山 大雪，野寺 穰，江口 智也，長谷川 奏恵，石田 健太郎，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：発熱により顕在化した Brugada 症候群の1例，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，20210306，41

2089427 青山 大雪，宮崎 晋介，長谷川 奏恵，長尾 萌子，掛橋 昇太，向井 萌，関原 孝之，野寺 穰，江口 智也，宇随 弘泰，夢田 浩：カテーテルアブレーションを行った左室駆出率低下を伴う心房細動患者への心臓リハビリテーションの有効性，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，AF，20210306，39

2089428 俣山 知己，玉 直人，汐見 雄一郎，野寺 穰，長谷川 奏恵，池田 裕之，石田 健太郎，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：急激な経過をとった顕微鏡学的微小肺動脈腫瘍塞栓症の1例，日本内科学会 第242回北陸地方会，循環器，20200909

2089429 長尾 萌子，関原 孝之，荒賀 彬，俣山 知己，堀口 慈希，掛橋 昇太，相木 孝允，向井 萌，青山 大雪，山口 順也，野寺 穰，汐見 雄一郎，江口 智也，長谷川 奏恵，玉 直人，池田 裕之，石田 健太郎，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：熱中症により顕在化したBrugada症候群の一例，第140回日本循環器学会北陸地方会，不整脈，20210124

2089430 相木 孝允，腰地 孝昭：対角枝の閉塞により心破裂を合併した一例，第140回日本循環器学会北陸地方会，虚血性心疾患・肺循環，20210124

2089431 高橋 藍，鯉江 祐介，嶋田 誠一郎，坪川 操，山田 就久，糟野 健司，宇随 弘泰，夢田 浩：腎移植後，慢性心不全を有するCABG術後例のリハビリテーション治療経験および回復期・維持期心臓リハの課題，日本心臓リハビリテーション学会第6回北陸支部地方会，20201024

2089432 堀口 慈希，向井 萌，山口 順也，汐見 雄一郎，玉 直人，荒賀 彬，俣山 知己，長尾 萌子，掛橋 昇太，相木 孝允，関原 孝之，青山 大雪，野寺 穰，江口 智也，長谷川 奏恵，池田 裕之，石田 健太郎，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：一時留置型下大静脈フィルターを用いた周産期深部静脈血栓症の一例，第140回日本循環器学会北陸地方会，末梢血管・その他，20210124

2089433 安竹 正樹，五十嵐 千秋，堀 康恵，鯉江 祐介，亀井 絵理奈，嶋田 誠一郎，青木 芳隆，宇随 弘泰，夢田 浩：入院期に尿閉を呈した高齢心不全患者の臨床的特徴—当院診療録からの後方視的観察研究—，日本心臓リハビリテーション学会第6回北陸支部地方会，20201024

- 2089434** 長谷川 奏恵：臨床に役立つ不整脈の遺伝子検査，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，遺伝性不整脈を診る，20210306
- 2089435** 関原 孝之，青山 大雪，荒賀 彬，俣山 知己，堀口 慈希，長尾 萌子，掛橋 昇太，相木 孝允，向井 萌，山口 順也，野寺 穰，汐見 雄一郎，江口 智也，長谷川 奏恵，玉 直人，池田 裕之，石田 健太郎，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：非生理的ペースン
グで増悪する右室流出路ペースンによる横隔神経補足の一例，日本循環器学会 第156回東海・第141回北陸合同地方会，不整脈，20201031
- 2089436** 玉 直人，堀口 慈希，俣山 知己，荒賀 彬，長尾 萌子，掛橋 昇太，相木 孝允，向井 萌，関原 孝之，青山 大雪，山口 順也，野寺 穰，汐見 雄一郎，江口 智也，長谷川 奏恵，池田 裕之，石田 健太郎，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：複合的な要因が考えられた抗ARS抗体陽性の重症肺高血圧症，第140回日本循環器学会北陸地方会，虚血性心疾患・肺循環，20210124
- 2089437** 荒賀 彬，野寺 穰，池田 裕之，石田 健太郎，俣山 知己，堀口 慈希，長尾 萌子，掛橋 昇太，相木 孝允，向井 萌，関原 孝之，青山 大雪，山口 順也，汐見 雄一郎，江口 智也，長谷川 奏恵，玉 直人，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：肝静脈～右心房内に遺残した皮下埋没型中心静脈カテーテルの断片をスネアカーテルを用いて回収した1例，日本循環器学会 第156回東海・第141回北陸合同地方会，大動脈・末梢血管・静脈，20201031
- d. 一般講演（ポスター）**
- 2089438** 江口 智也，長尾 萌子，向井 萌，関原 孝之，青山 大雪，野寺 穰，長谷川 奏恵，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：ガイドワイヤ型電極カテーテル（EP skinny）で冠動脈内から電位の記録を行った1例，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，20210306，65
- 2089439** 向井 萌，青山 大雪，長尾 萌子，掛橋 昇太，関原 孝之，野寺 穰，江口 智也，長谷川 奏恵，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：完全房室ブロックに対するDDD ペースメーカー留置後に心房粗動による房室同期不全により不整脈誘発性心筋症を発症した1例，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，20210306，66
- 2089440** 江口 智也，長尾 萌子，向井 萌，関原 孝之，青山 大雪，野寺 穰，長谷川 奏恵，宮崎 晋介，宇随 弘泰，夢田 浩：クライオバルーンを用いた持続性心房細動患者における左房天蓋部へのアブレーションが有効であった1例，日本不整脈心電学会 第1回東海・北陸支部地方会，20210306，65
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (4) その他の研究会・集会**
- a. 招待・特別講演等**
- 2089441** 宮崎 晋介：臨床研究と英語論文作成の方法～臨床医の経験から～，第1回「臨床研究のすすめ」セミナー，20210204
- 2089442** 夢田 浩：不整脈治療の最新の知見，Heart Rhythm Webinar Part1，20201120
- 2089443** 宇随 弘泰：サムスカ10年目で分かってきた高齢者での安全性と有効性，大塚e講演会，20201008
- 2089444** 宮崎 晋介：より安全な心房細動アブレーションを目指して～周術期抗凝固療法のパラダイムシフト～，Ablation Expert Seminar in SANIN，20201219
- 2089445** 宇随 弘泰：新しい慢性心不全治療について，ARNI Expert Meeting in Fukui，20210226
- 2089446** 夢田 浩：不整脈治療の現状：このような患者を是非ご紹介ください，地域で診る不整脈診療WEBセミナー，20210226
- 2089447** 宮崎 晋介：心房細動アブレーション周術期抗凝固療法，心房細動アブレーション連携Webinar，20200127
- 2089448** 宮崎 晋介：クライオバルーンの有用性について，Web講演会，20210302
- 2089449** 宮崎 晋介：より安全な心房細動アブレーションを目指して～周術期抗凝固療法のパラダイムシフト～，AF Ablation Expert Meeting，20201009
- 2089450** 宮崎 晋介：より安全な心房細動アブレーションを目指して～周術期抗凝固療法のパラダイムシフト～，アブレーションの未来を語る会，20201023
- 2089451** 宮崎 晋介：最近の研究結果から心房細動アブレーション治療を考える，第5回南京都不整脈アカデミー，20200924
- 2089452** 宮崎 晋介：より安全な心房細動アブレーションを目指して～周術期抗凝固療法のパラダイムシフト～，Meet the Expert WEB講演会，20200717
- 2089453** 夢田 浩：心不全治療の新たな選択肢，ARNI WEB LIVE SYMPOSIUM in 福井，20200917
- 2089454** 宮崎 晋介：心房細動・心房頻拍に対するカテーテルアブレーション治療の進歩，越後エリキュースWebセミナー，20210219
- 2089455** 宮崎 晋介：心房細動に対するカテーテルアブレーション治療と抗凝固療法～最新のガイドラインも踏まえて～，エリキュース エリアWEBセミナー in 信州，20201030
- 2089456** 宇随 弘泰：循環器疾患における抗血栓療法と消化管出血のリスク管理，循環器Forum2021，20210311
- 2089457** 宇随 弘泰：糖尿病治療の展望，JDS/JCS糖尿病治療合同ステートメント Webinar，20201210
- 2089458** 宮崎 晋介：日常臨床における心房細動のマネージメント～アブレーションから抗凝固療法まで～，能登北部医師会学術講演会，20201016

業績一覧

- 2089459** 宮崎 晋介: 持続性心房細動に対するクライオバルーンの上手な使い方 (講演1), 当院におけるクライオバルーンを用いた持続性心房細動に対する治療戦略 (講演2), FROST-PeAF, 20210126
- 2089460** 宮崎 晋介: 心房細動アブレーション周術期抗凝固療法, 心房細動アブレーション連携Webinar in Fukui, 20201020
- 2089461** 宮崎 晋介: より安全な心房細動アブレーションを目指して～周術期抗凝固療法のパラダイムシフト～, 九州地区 アブレーションMeet The Expert, 20201212
- 2089462** 宮崎 晋介: 心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の現状と周術期抗凝固療法の管理, 不整脈治療地域連携 Web Seminar, 20200911
- 2089463** 宮崎 晋介: Marshall bundle-related atrial tachycardia, 伊勢志摩カテーテルアブレーションライブ2021, 20210123
- 2089464** 夢田 浩: カテーテルアブレーション: 私の経験してきたこと, 第7回Cardiac Arrhythmia Research Topics, 20201203
- 2089465** 夢田 浩: 循環器疾患治療に伴う出血マネジメント: ポノブラザンの有用性, 武田循環器領域Topics Web講演会, 20210121
- 2089466** 宇随 弘泰: 循環器疾患における抗血栓療法と消化管出血のリスク管理, 循環器WEB seminar 2021, 20210316
- 2089467** 宮崎 晋介: 難治性ATに対するRHYTHMIAによるマッピング戦略, RHYTHMIA CHANNEL-基礎から応用まで-, 20201120
- 2089468** 夢田 浩: 不整脈の非薬物療法: 最近の話題, 第51回高知不整脈研究会学術講演会, 20210129
- 2089469** 夢田 浩: カテーテルアブレーション: 今まで関わってきたこと, 第6回西新宿不整脈カンファレンス, 20201107
- 2089470** 宮崎 晋介: 心房細動に対するカテーテルアブレーション治療～その適応・有用性から抗凝固療法まで～, エリキュースエリアWebセミナー in 北信州, 20201208
- 2089471** 夢田 浩: 不整脈治療: 現状と最近の話題, 北部地区抗凝固療法セミナー, 20210323

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

- 2089472** 池田 裕之: 大動脈弁狭窄症の最新治療～抗凝固療法も含めて～, 鯖江・福井循環器連携講演会, 20210216
- 2089473** 山口 順也: 大動脈弁狭窄症の最新治療, 坂井地区学術講演会, 20201022
- 2089474** 山口 順也: Orsiroミニレクチャー, 高岡みなみ循環器ライブ研究会・第一回症例検討会, 20210318
- 2089475** 長谷川 奏恵: アドレナリン作動薬の内服中にQT延長を伴い心室細動をきたしたリアノジン受容体変異を有する1例, 心電学関連研究会2020, 心電図解析, 20201220
- 2089476** 宇随 弘泰: 循環器領域のアミロイドーシス診療, 福井県心アミロイドーシス診断治療推進Webセミナー, 20201124
- 2089477** 玉 直人: 複合的な要因が考えられた抗ARS抗体陽性の重症肺高血圧症, 第2回 PH Young Drs Meeting, 20201015
- 2089478** 山口 順也: 大動脈弁狭窄症の最新治療, 福井小浜循環器連携講演会, 20200925

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者
----	------------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額 (配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	前立腺癌のホルモン療法による致死性不整脈の出現に関する予測因子の解明	長谷川 奏恵		20190401-20210331	¥910,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	心房細動アブレーション後の抗Xa阻害薬投与の意義に関する研究	夢田 浩	宮崎 晋介	20190401-20220331	¥910,000

業績一覧

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	シー・バイ・クエスト株式会社	Evaluation of Neo-intimal Coverage after Coronary Stent Implantation by High-Resolution Angioscopic Catheter (ENCLOSE) ハイレゾ血管内視鏡を用いたストent留置後冠動脈における新生内膜被覆度観察試験に関する多施設観察研究	宇随 弘泰	20190301-20201231	¥620,000
受託研究	Guidant Europe NV Boston Scientific Company	Heart Failure Indication and Sudden Cardiac Death Prevention Trial Japan, HINODE 日本における心不全適応および心臓突然死予防試験	夢田 浩	20180424-20211231	¥0
受託研究	IQVIAサービシーズジャパン株式会社	日本におけるアブレーションインデックスを用いた心房細動アブレーションに関する多施設共同観察研究	青山 大雪	20200514-20220831	¥220,000
受託研究	一般財団法人生産開発科学研究所	実地臨床におけるバイオリムス溶出性ステント (BES) とエベロリムス溶出性ステント (EES) の有効性及び安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験 【NOBORI Biolimus-Eluting versus XIENCE/PROMUS Everolimus-eluting Stent Trial: NEXT】	宇随 弘泰	20110519-20221231	¥1,952,400
受託研究	メビックス株式会社	深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制に対するリバーロキサパンの有用性及び安全性に関する登録観察研究 (J'xactly Study)	夢田 浩, 天谷 直貴	20170728-20211130	¥65,000
受託研究	国立大学法人三重大学	静脈血栓塞栓症における非ビタミンK阻害経口抗凝固薬治療の前向き追跡研究	夢田 浩	20170130-20221130	¥0
受託研究	一般財団法人生産開発科学研究所	実地臨床におけるエベロリムス溶出性ステントとシロリムス溶出性ステントの有効性及び安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験: 長期追跡試験 【<RESET>Randomized Evaluation of Sirolimus-eluting versus Everolimus-eluting Stent Trial: Extended Follow-up Study】	宇随 弘泰	20180514-20220331	¥270,000
受託研究	一般財団法人生産開発科学研究所	急性冠症候群に対するエベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板剤2剤併用療法 (DAPT) 期間を1か月に短縮することの安全性を評価する研究【STOPDAPT-2 ACS: Short and Optimal duration of Dual AntiPlatelet Therapy-2 study for patients with ACS】	宇随 弘泰	20190626-20260331	¥11,000
受託研究	株式会社メディサイエンスプランニング	カテーテルアブレーションを施行した非弁膜症心房細動症例の抗凝固療法の実態とその予後に関する観察研究 ～RYOUMA Registry～	夢田 浩	20170920-20200630	¥0
受託研究	一般財団法人生産開発科学研究所	エベロリムス溶出性コバルトステント留置後の抗血小板剤2剤併用療法 (DAPT) 期間を1ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究	池田 裕之	20170119-20250331	¥246,440
受託研究	日本メドトロニック株式会社	Mid-Q Response試験	夢田 浩	20200731-20240331	¥0
受託研究	日本メドトロニック株式会社	AdaptResponse試験	夢田 浩	20141203-20220731	¥252,720

業績一覧

受託研究	国立大学法人新潟大学、株式会社マイクロン	2型糖尿病合併不整脈治療デバイス植え込み患者におけるエンバグリフロジン介入後の重症不整脈数変化を評価するためのプラセボ対照二重盲検比較試験	夢田 浩	20191118-20240331	¥0
受託研究	一般財団法人生産開発科学研究所	慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討 [Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy - Statin and Eicosapentaenoic Acid (RESPECT-EPA)]	森下 哲司	20150320-20230331	¥1,130,000
受託研究	国立大学法人大阪大学医学部附属病院、特定非営利活動法人 臨床研究・教育支援センター	非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法：多施設、前向き、無作為化比較試験	夢田 浩	20210107-20241231	¥0
受託研究	E P クルーズ株式会社	非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究 (ANAFIE Registry)	夢田 浩	20170201-20200930	¥1,047,600

(B) 奨学寄附金

受入件数	20
受入金額	¥10,040,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会(全国レベル)	主催者	日本不整脈心電学会第1回東海・北陸支部地方会	20210306-20210306	Web開催
国内学会(全国レベル)	主催者	日本心臓リハビリテーション学会第6回北陸支部地方会	20201024-20201024	Web開催

(B) 学会の委嘱

学会の名称	役職	氏名
日本不整脈学会	アブレーション委員会委員	夢田 浩
日本不整脈心電学会	国際交流委員会 北米担当専門委員会委員	夢田 浩
日本心臓リハビリテーション学会	評議員	夢田 浩
臨床電気生理研究会	特別幹事	夢田 浩
日本内科学会北陸地方会	評議員	夢田 浩
日本内科学会	評議員	夢田 浩
日本内科学会	2020年度試験問題作成世話人	夢田 浩
日本循環器学会	電気生理/不整脈部会委員	夢田 浩
日本循環器学会	一般会員	夢田 浩
独立行政法人医薬品医療機器総合機構	専門委員	夢田 浩
日本内科学会	認定内科医・総合内科専門医試験歴要約評価者	夢田 浩
日本心臓病学会	顕彰委員会委員	夢田 浩
日本心臓病学会	一般会員	夢田 浩
日本超音波医学会	一般会員	夢田 浩
日本心臓病学会	社員	夢田 浩
日本循環器学会	循環器専門医試験問題作成者	夢田 浩
米国心臓病学会	一般会員	夢田 浩
臨床電気生理研究会	評議員	夢田 浩
日本循環器学会	社員	夢田 浩
日本循環器学会北陸支部	評議員	夢田 浩
日本心エコー図学会	一般会員	夢田 浩
日本心臓病学会	研究推進委員会 委員	夢田 浩
Asian Heart Rhythm Society, Tokyo	一般会員	夢田 浩
Heart Rhythm Society, USA	一般会員	夢田 浩
日本腫瘍循環器学会評議員	評議員	夢田 浩
日本不整脈学会	一般会員	夢田 浩
日本心血管脳卒中学会	学術評議員	夢田 浩
日本心臓インターベンション治療学会	一般会員	夢田 浩
日本心臓リハビリテーション学会	一般会員	夢田 浩
日本超音波医学会	代議員	夢田 浩
日本腫瘍循環器学会	評議員	夢田 浩
日本不整脈学会	エキシマレーザースーミ臨床使用に関する諸問題の検討小委員会委員	夢田 浩
日本不整脈心電学会	一般会員	夢田 浩

業績一覧

特発性心室細動研究会 (J-IVFS)	幹事	夢田 浩
日本不整脈学会	東海・北陸支部支部長	夢田 浩
日本内科学会	一般会員	夢田 浩
日本老年医学会	一般会員	夢田 浩
日本心臓病学会	学術集会プログラム委員会委員	夢田 浩
日本不整脈心電学会	学術委員会委員長	夢田 浩
日本不整脈心電学会	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医試験問題作成者	夢田 浩
日本心臓病学会	社員	宇随 弘泰
日本脈管学会	一般会員	宇随 弘泰
日本循環器学会北陸支部	評議員	宇随 弘泰
日本心臓リハビリテーション学会北陸支部	評議員	宇随 弘泰
日本核医学会	一般会員	宇随 弘泰
日本不整脈心電学会	一般会員	宇随 弘泰
日本臨床薬理学会	一般会員	宇随 弘泰
医療の質・安全学会	一般会員	宇随 弘泰
日本不整脈心電学会	評議員	長谷川 奏恵

(G) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
その他	第13回植込みデバイス関連冬季大会	夢田 浩
招待・特別講演等	日本循環器学会第156回東海・第141回北陸合同地方会	夢田 浩
招待・特別講演等	第140回日本循環器学会北陸地方会	夢田 浩
シンポジウム等	第84回日本循環器学会学術集会	夢田 浩
一般講演 (口演)	第13回植込みデバイス関連冬季大会	夢田 浩
その他	日本不整脈心電学会第1回東海・北陸支部地方会	夢田 浩
シンポジウム等	第85回日本循環器学会学術集会	夢田 浩
その他	第84回日本循環器学会学術集会	夢田 浩
招待・特別講演等	日本不整脈心電学会第1回東海・北陸支部地方会 共催セミナー	夢田 浩
招待・特別講演等	日本不整脈心電学会第1回東海・北陸支部地方会	夢田 浩
招待・特別講演等	日本心臓リハビリテーション学会 第6回北陸支部地方会	夢田 浩
一般講演 (口演)	日本内科学会 第242回北陸地方会	宇随 弘泰
一般講演 (ポスター)	第84回日本循環器学会学術集会	宇随 弘泰
一般講演 (口演)	日本不整脈心電学会第1回東海・北陸支部地方会	宮崎 晋介
一般講演 (口演)	第140回日本循環器学会北陸地方会	長谷川 奏恵
一般講演 (口演)	日本不整脈心電学会第1回東海・北陸支部地方会	長谷川 奏恵

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長 (主査) ・委員の別	氏名	査読編数
Circulation Journal	編集	委員	夢田 浩	
Heart and Vessels	査読		夢田 浩	1
Journal of PACE	編集	委員	夢田 浩	
PACE (Pacing and Clinical Electrophysiology)	査読		夢田 浩	5
Journal of Cardiology Cases	編集	委員	夢田 浩	
Journal of Cardiovascular Electrophysiology	査読		夢田 浩	1
Journal of Cardiovascular Electrophysiology	査読		夢田 浩	1
Journal of Cardiovascular Electrophysiology	編集	委員	夢田 浩	
Heart Rhythm	査読		夢田 浩	13
Heart Rhythm	編集	委員	夢田 浩	
Internal Medicine	査読		夢田 浩	1
Internal Medicine	編集	委員	夢田 浩	
International Heart Journal	査読		夢田 浩	4
International Heart Journal	編集	委員	夢田 浩	
Journal of 臨床電気生理	査読		夢田 浩	2
臨床電気生理	編集	委員	夢田 浩	

(E) その他